

| 基本情報         |                                    |                              |  |  |  |                              |
|--------------|------------------------------------|------------------------------|--|--|--|------------------------------|
| 教科・科目        |                                    | 社会科・中2・歴史的分野                 |  | ・授業で使用するもの<br>□授業プリント（各自なくさないようにファイリングすること）<br>□教材：教科書（日本文教出版「中学社会歴史的分野」、東京法令出版「グラフィックワイド歴史」）                    |  |                              |
| 担当者          |                                    | 西田 幸乃                        |  |  |  |                              |
| 評価割合（試験：試験外） |                                    | 試験：6          試験外：4          |  | □定期テスト①～⑤は100点満点<br>□試験外評価については、授業で行うアクティビティほか、提出物等で評価する。  |  |                              |
| 年間を通じて教科で培う力 |                                    | 鍛錬（知識及び技能）                   |  | 歴史上の出来事や人物、時代の色を正しく理解するとともに、それらを関連づけて大きな流れとして捉える力を養う。  |  |                              |
|              |                                    | 理解（思考力・判断力・表現力等）             |  | 歴史的事象の背景や原因・結果を多角的に考察し、資料や情報をもとに自らの考えを形成する力を養う。さらに、比較・関連づけを通して時代の特徴を判断し、適切な言葉や方法で論理的に表現できる力を高めることを目指す。           |  |                              |
|              |                                    | 探究・観智（主体的に学習に取り組む態度）         |  | 歴史に対する関心を深め、自ら問いを立て、資料や情報を積極的に収集・活用しながら学びを進める態度を育成する。さらに、学んだ内容をもとに考えを深め、歴史的視点から現代社会への理解や未来への展望を主体的に考えようとする姿勢を養う。 |  |                              |
| 学習情報         |                                    |                              |  |  |  |                              |
| 月            | 回                                  | 単元（学習）目標                     | 単元目的（到達状態）   | 学習内容   | 活動内容                                     | 評価方法・ポイント                    |
| 4            | 5                                  | 第1編 私たちと歴史<br>第2編 古代までの日本    | ●歴史学習の基本事項を理解し、人類の始まりや各文明の内容と特徴を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み自らの考えを説明できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「歴史はなぜ「猿（猿人）」の記述から始まるのだろうか？」「文字がなければ、世界はどうなっていただろう？」   | 第1編 私たちと歴史<br>第2編 古代までの日本<br>1 人類の始まりと文明<br>①人類の出現<br>②古代文明の誕生<br>③中国の文明と東アジア世界                                  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション               | ・小テスト<br>・レポート               |
| 5            | 10                                 | 第2編 古代までの日本                  | ●ギリシャ・ローマの文明や世界宗教について、内容を理解し、その特徴を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み自らの考えを説明できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「「民主主義」はなぜ古代ギリシャで生まれたのだろうか？」「なぜ人々は「神」という存在を必要としたのだろうか？」                                      | ④ギリシャ・ローマの文明<br>⑤文明と宗教   | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・プレゼンテーション | ・プレゼンテーション<br>・小テスト<br>・レポート |
| 6            | 定期試験① 令和7年 6月2日～6月4日 範囲)           |                              |  |  |  |                              |
| 6            | 10                                 | 第2編 古代までの日本                  | ●日本列島の人々と国家の形成について、その歴史的背景や変化の特徴を理解し、自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを説明できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「農業の始まりは、人間にとって「自由」か「不自由」か？」「大きな国家ができると、何が「便利」になって、何が「失われる」のか？」                          | 2 日本列島の人々と国家の形成<br>①日本人のルーツと縄文時代<br>②稲作の広まりと弥生時代<br>③ヤマト政権と渡来人<br>④東アジアの統一国家                                     | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・プレゼンテーション | ・プレゼンテーション<br>・小テスト<br>・レポート |
| 7            | 5                                  | 第2編 古代までの日本                  | ●飛鳥時代から奈良時代にかけての政治・文化の変化について理解し、それぞれの特徴を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを説明できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「なぜ聖徳太子は仏教を重視したのだろうか？」「なぜ日本は「律令」という制度を取り入れたのだろうか？」                                    | ⑤聖徳太子と飛鳥文化<br>⑥律令国家の成立<br>3 古代国家の展開<br>①奈良の都と人々の暮らし  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・プレゼンテーション | ・プレゼンテーション<br>・小テスト<br>・レポート |
| 7            | 定期試験② 令和7年 7月9日～7月11日 範囲) *C16:T18 |                              |  |  |  |                              |
| 8            | -                                  |                              |  |  |  |                              |
| 9            | 8                                  | 第2編 古代までの日本                  | ●奈良時代から平安時代にかけての政治や文化の特色を理解し、その背景にある考え方や社会の変化を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを述べる力を養うことを目的とする。<br>クエスチョン例：「なぜ聖武天皇は大仏を建てようとしたのだろうか？」「摂関政治はなぜ長く続いたのだろうか？」                                      | ②天平文化と聖武天皇<br>③平安京と桓武天皇<br>④摂関政治と国風文化  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・プレゼンテーション | ・プレゼンテーション<br>・小テスト<br>・レポート |
| 10           | 10                                 | 第3編 中世の日本と世界                 | ●古代から中世へ移り変わる日本社会の特徴を理解し、政治や文化の変化とその背景を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを深めて表現できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「武士はなぜ登場したのだろうか？」「武士と貴族は、どんな価値観のちがいを持っていたのだろうか？」                                    | 第3編 中世の日本と世界<br>1 古代から中世へ<br>①武士の登場<br>②院政と平氏政権<br>2 鎌倉幕府の成立<br>①鎌倉幕府の政治<br>②鎌倉時代の文化                             | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション               | ・小テスト<br>・レポート               |
|              | 定期試験③ 令和7年 10月20日～10月22日 範囲)       |                              |  |  |  |                              |
| 11           | 7                                  | 第3編 中世の日本と世界                 | ●鎌倉時代の政治と文化、社会の変化や対外関係について理解し、その特徴や意味を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを深めて表現できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「「力による支配」は、安定した社会をつくることができるのか？」「外からの脅威は、国のかたちをどう変えるのだろうか？」                           | ②鎌倉時代の文化<br>③鎌倉時代<br>④元の襲来と鎌倉幕府  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・プレゼンテーション | ・プレゼンテーション<br>・小テスト<br>・レポート |
| 12           | 5                                  | 第3編 中世の日本と世界                 | ●室町時代の政治や社会、国際関係の変化を理解し、その特徴や背景を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを深めて表現できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「なぜ室町幕府は中国（明）と正式な交流を求めたのだろうか？」「琉球王国は、どのようにして東アジア世界の中で存在感を高めたのか？」                           | 3 室町幕府と下剋上<br>①南北朝の動乱と室町幕府<br>②東アジアとの交流と琉球王国の成立  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション               | ・小テスト<br>・レポート               |
| 12           | 定期試験④ 令和7年 12月10日～12月12日 範囲)       |                              |  |  |  |                              |
| 1            | 7                                  | 第3編 中世の日本と世界                 | ●室町時代後期における産業の発展、都市と村の成長、また応仁の乱から戦国時代への移り変わりを理解し、それらの特徴と背景を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを深めて表現できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「戦国大名たちは、なぜ「自分の力」で国を治めようとしたのか？」「人々は不安定な時代のなかで、どのように生き抜こうとしたのか？」 | ③産業の発展と都市と村<br>④応仁の乱と戦国大名  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・プレゼンテーション | ・プレゼンテーション<br>・小テスト<br>・レポート |
| 2            | 11                                 | 第3編 中世の日本と世界<br>第4編 近世の日本と世界 | ●室町時代の文化とその広がり、また中世から近世にかけての日本と世界のつながりを理解し、それぞれの特徴と背景を自ら説明できるようになること、および抽象的な問いに主体的に取り組み、自らの考えを深めて表現できるようになることを目的とする。<br>クエスチョン例：「宗教は人間の希望を支える存在か、それとも対立の原因か？」「芸術や文化が乱世の中で発展するのは、なぜ可能だったのか？」          | ⑤室町時代の文化とその広がり<br>第4編 近世の日本と世界<br>1 中世から近世へ<br>①イスラム教の世界とキリスト教の世界<br>②つながれていく世界                                  | ・講義<br>・個人ワーク<br>・ディスカッション<br>・プレゼンテーション | ・プレゼンテーション<br>・小テスト<br>・レポート |
| 3            | 定期試験⑤ 令和8年 3月4日～3月6日 範囲)           |                              |  |  |  |                              |